

第52回

島立地区芸術文化祭

第18回

島立地区福祉ひろばまつり

11月11日(土)
12日(日)

島立地区芸術文化祭・福祉ひろばまつりが盛大に開催され、延べ500人が来場しました。催しや展示作品の一部を写真でご紹介します。



▲ 島立小学校ブラスバンド部



▲ 高綱中学校吹奏楽部



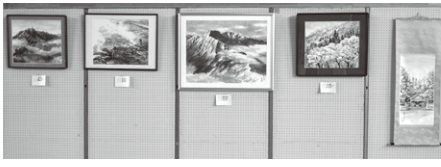
▲ 信大附属松本中学校 英語部



▲ ニューエバークリーン



▲ さわやかコーラス



▲ 墨勝会



▶ 豚汁400杯無料配布 ▶



◀ シニアカー試乗体験

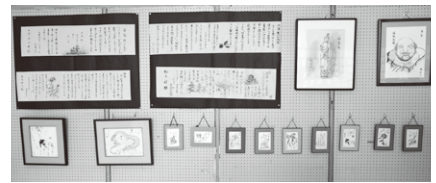


▲ 花の会

▶ 陶芸クラブ ▶



▲ 絵手紙クラブ ▲



▲ 俳画便り同好会 ▲



▲ ゆいまーるこどもひろば秘密基地



▲ 紫水会



▲ パッチワークの会



▲ 写真で振り返る高綱中学校の歴史 (全22枚)



▲ 島立こども未来塾



▲ 大庭かぶらの会 ▲



▲ かがさーくろ ▲

カラオケを楽しもう

12月10日(日)堀米公民館で「カラオケを楽しむ昼下がり」の会が開催されました。

歌う事や聞く事が好きな方々が集まり、得意な曲を次々と選曲し、披露しました。

コロナ明けでしたが、参加を躊躇される方もいらつしやいました。次回、開催されるときはご家族、お友達などお誘い合わせの上、どうぞご参加ください。



園児と住民の交流会

11月13日(月)堀米公民館にて、堀米保育園長組と住民との「けん玉交流会」が開催されました。中信地区で活動している Zuku Kendama さんが講師となり、園児向けと大人向けのけん玉講座が行われました。

けん玉を行うことで脳が活性化され、認知症予防、記憶力アップに繋がるといわれています。けん玉終了後にはお茶会が行われ、参加者は楽しい時間を園児たちと過ごしました。



令和6年1月1日現在

世帯数	2,887 世帯
男	3,214 人
女	3,365 人
総人口	6,579 人

HUG を体験

12月9日

(土)、島立公民館を会場に避難所運営訓練が実施され、各町会役員など約30人が参加し、避難所運営ゲーム(HUG)を体験しました。

HUGとは、避難者の家族構成やそれぞれが抱える事情などが書かれたカードを避難所の平面図にどれだけ適切に配置できるか、また、避難所で起こる様々な出来事が書かれたカードにどう対応していくかを模擬体験するゲームです。

次々と避難者が押し寄せ、様々な出来事が起こる中、参加者は話し合いながら避難所のスペースを割り当てていきました。ゲームを進める中で気づいたことや苦労したことなどを全員で意見交換し、避難所運営の課題などを共有しました。

実際の災害時をイメージした貴重な体験になったと共に、日頃の支えあいによる防災を考えさせられる貴重な機会となりました。



松本城スカイライティング



クリスマスコンサート

12月16日

(土)に松本市音楽文化ホールにて、島立小学校 brassバンド部32名によるクリスマスコンサートが開かれました。

クリスマスソングからスタートに、会場は一気にクリスマスモードに。前半の締めくくりは、このコンサートで引退となる6年生11名による『銀河鉄道999』の演奏。数年間、朝や放課後に練習を重ねた6年生の息のあった演奏でした。

後半には3名のゲスト奏者(トランペット、アルト・テナーサクソフォン、バリトンサクソフォン)によるプロの演奏があり、美しく響く音色に観客全員が聴き入りました。

プログラムの最後の曲『宝島』では brassバンド部員と一緒に、楽器を持ち寄った部員家族、OGやOB、ゲスト奏者、島立小学校の先生方はそれぞれ打楽器を手にも、みんなで盛り上がる素晴らしい演奏でした。



南栗 いきいき百歳体操

いきいき茶話会からスタートし、コロナ対策でいきいき百歳体操をマロン会の皆さんを中心に行ってききましたが、今年度は5類移行に伴い開催回数内容共に充実しました。

健康づくりを行う、「ずく」を出して外出する、地域の人や小学生と交流する等、できる範囲の計画で、月4回の開催を目標に取り組みました。

百歳体操をベースにウォーキング、ふれあい健康教室、小学生との交流会、ヨガ、茶話会、ラダーゲッター等を行い4回開催した月は40〜50人の参加となりました。

体を動かしながら多くの人と交流し、頭を回転させてリフレッシュするのは楽しいものです。

寒い冬ですがコタツにしがみ付かずこのような行事に参加されてはいかがでしょう。



三の宮イルミネーション



松本城イルミネーション



穂高神社神竹灯(かみあかり)

永田町会しめ飾りづくり

12月10日(日)に永田公民館で開かれました。

しめ飾りづくりの講習会が、12月10日(日)に永田公民館で開かれました。

自作に挑戦しよう、家族連れや若男女問わず、20人余りが集まりました。

講師の内川充弘さん(あかしな農業塾塾長)から説明を聞いたあと、藁をつかい作製作業に入りました。

はじめは「どっちに縫えばいいの?」「うまく藁がまとまらない」と話していた参加者も、コツをつかむと面白いように作業が進み、講習会が終わるころにはオリジナルのしめ飾り、完成させていました。

オリジナルのしめ飾りで、気分も新たに一年がスタートできたのではないのでしょうか。



「火の用心」

島立でも歳末警戒

12月26日(火)から30日(土)まで松本市消防団の歳末警戒が行われ、島立地区は第10分団が地区内のパトロールを強化し、火の用心を呼びかけました。

警戒初日の26日には市理事者が第10分団の詰め所を訪れ、団員他関係者を激励しました。

塩原聡分団長は「島立地区の皆さんが安心して無事に年を越せるよう、広報活動を通じて警戒に当たりたい」と力強く話し、地区内のパトロールへと向かいました。



梓水焼岳



城山からの雲海



2024年の干支「甲辰」水墨画 勝野壽雄さん (小柴)